

「つながる。ハーベスト」第11弾
naniro BASE&Lab.
黒井 理恵 氏



— 北海道のオスメのワーク施設とそこで出会いを創り出す「コンシエルジュを」紹介する「つながる。ハーベスト」。

— その第11弾として、道北・名寄市に位置する「コミュニティスペース」「naniro BASE&Lab.」の黒井 理恵 さんにお話を伺いました。



立ち上げの経緯

— こちらの施設は2015年に「なにいろカフェ」という名称で開かれたのが始まりなのですが、立ち上げに至った経緯を教えてくださいませんか。

立ち上げ前年の2014年に私は名寄市にUターンしたのですが、最初の3〜4ヶ月くらいは、地域の方々に名寄の色々な課題をヒアリングして回りました。その際「何か始めたいと思って相談する場所がない」「一緒に取り組んでくれる人をどう探せばいいかわからない」という悩みを聞き、「コミュニティスペースの必要性を感じました。」

— 具体的にはどのようなコンセプトで開設されたのでしょうか。

私自身、よりよい社会をつくってきたいというキーワードを持っていて、

「一人一人がやりたいことをしっかりとできる社会であること」「その人をサポートするコミュニティがあること」の2つが大事だと考えています。高齢者福祉や子育て、環境問題など、身近な社会課題に対して何かしたい、という人が集まる場づくりが出来ればと考えていました。

「なにいろカフェ」は5年ほど運営しましたが、スペースが手狭で人々が行き来する場になれなかったこともあり、2020年に移転し、現在の名称で、「名寄の街を、クリエイティブに遊ぶ人たちの社交場。動き、交わり、学ぶ、楽しむイノベーションスペース」をコンセプトとして運営しています。



現在の「naniro BASE」

— これまで取材した施設では、「コロナ禍でなかなか人が集まるコミュニティとしての機能を生かしていかないとの声もありました。その点の影響はいかがでしょうか。」

今お話ししたとおり、元々はコミュニティスペース寄り運営していたのですが、コロナの影響で現在は大きく業態を変えています。

移転した当初は、「ワーキングスペースとして週3日開けて、夜はテーマ型のバーをやってみました。お酒を飲むだけじゃなくて、映画・音楽・SDGs・教育など気になるテーマを持ち寄り対話し、化学変化が起きる場を目指していました。」

— 面白い取組ですが、コロナ禍でバーというのは難しかったのでは。

お酒という面もありますし、初めての

つながる。HUB
コミュニティスペース
naniro BASE&Lab.

名寄市にある唯一のWi-Fi・電源完備のワーキングスペース。現在は無人で営業しており、いいオフィス経由で利用できる。



住所：名寄市西1条南7丁目6番地1
(JR名寄駅から徒歩5分)

※営業時間等はいいオフィス
をご確認下さい



naniro BASE&Lab.
いいオフィスページ

名寄市へのアクセス

- 札幌市からJR（特急）で約150分
- 旭川市からJR（快速）で約70分

つながる。インタビュー



インタビューに応じる黒井氏。市内の大学生も利用するなど、多様な交流が広がる場所。

人が一つのテーマで話すことに価値があったので、難しくなりましたね。

なので、コロナ禍以降はワーキングとレンタルスペースを主に運営していて、2022年4月からはより利便性を高めるため、「いいオフィス」に登録し、完全無人型としています。

「いいオフィス」を見て名寄市外から来られる方は月に1〜2名程度ですね。それ以外には普段からつながりのある市内の方が利用してくださっています。

— 「いいオフィス」の施設ページには、「市内の面白い方とつながりたい人はいつでもご相談下さい。」と記載されていますが、事前に相談すれば対応いただけるというのでしょうか？

はい。市外から私と会うことを目的に来ていただける方がいらっしゃいますが、他の仕事もあり常時ここにいるわけではないので、まずは事前に相談いただければと思います。

つながる。
ヒト

naniroBASE&Lab. 副所長
くろい りえ
黒井 理恵 氏



名寄市出身。静岡県立大学卒業後、出版社、企業PR・ブランディング企画会社を経て、2014年に「北海道との新しいかかわり方を創造する」を企業理念とした(株)DKdoを設立。

同年に名寄市にUターンし、市民自治・移住・観光関連の対話の場のファシリテーターやコンサルティングを行いながら、2015年より「naniroBASE&Lab. (旧：なににいるかふえ)」、2019年より名寄市を中心とした道北地域のスポーツ振興・まちづくりを目的とした「Nスポーツコミッション」の事務局次長として事業設計や広報などを担当。

2018年からは「北海道移住ドラフト会議」を立ち上げ運営している。

「naniroBASE」
かいつながる

「これまでワーケーションを通じて生まれた、地域とのつながりエピソードなどを教えていただけませんか。」

「昨年の夏に、首都圏在住の映像編集を仕事にしている方がワーケーションに来られたのですが、最初は1ヶ月の予定が、居心地が良すぎて3ヶ月に延長されました。」

「その方は「北海道型ワーケーション」のワンストップ窓口相談いただき、名寄市をご紹介させていただいたのですが、3ヶ月も滞在されていたとは！」

「この場所でお仕事をされていたので、」

「ここでやるイベントに参加したり、出入りする地域の人たちと仲良くなって、釣りなど色々遊びに行かれました。」

「他のケースでは、観光プランニングを専門とする企業さんがチームで来られました。地域活性について現場の意見を聞きたいとヒアリングに回ったり、他には普通にミーティングやお仕事されましたよ。」

「彼らは2泊されたのですが、「森の休暇村」という自然の中にあるコテージをオススメして、1日目は市内で私たち市民と飲み会、2日目は名寄名産「星空雪見法蓮(ほうれん)草」で鍋をしては？と提案しました。組織のチームビルディングと一緒に食事の用意をするというのは効果的なんですよ。実際、「いつもと違う一面がみられて関係性が深まった」「思考が開いてアイデアがたくさん出た」などの高評価をいただきました。」

「地元の人やモノ、場所、住んでないと知り得ない体験や情報などを、来てくれる方の特性やオーダーにあわせて、ご紹介したり、コーディネートしています。」

「地域のことを学びながら、仲間も深められるチームビルディングは最高ですね。本当はこういったプランを立ててもっとうまくして、チームビルディングを兼ねたワーケーション受入が進むといいなと思っています。私に相談していただければ、企業の社内ビジョンやコンセプトの形成を、ファシリテーターとして支援することもできるんです。」

「来る企業にとっても、より有意義なワーケーションとなりますね！」

名寄のオススメ

「これから来られる方に向けて、名寄では是非体験してほしい！というものを教えていただけますか？」

「なよろ健康の森」の森歩きがオススメです。ウッドチップが敷かれていて、夏は走ることも出来ますし、冬だとスノーシューやクロスカントリースキーも無料で借れます。」

あと、釣り人が憧れる「天塩川」や雪質日本一の「ピヤシリスキー場」、ちよつと足を伸ばして朱鞠内湖(幌加内町)でのワカサギ釣りなど、身近に本格的なアウトドア体験の場が沢山あるのが、他の地域にない楽しさだと思います。」

「都会にいたら、体験場所まで行くのに何時間もかかるので、ここでは30分以内でできるので、仕事と遊びが純度高く両立できると思います。」

「特急が停まり、大型商業施設や総合病院が立地し、「ワークキングスペースもある。さらに本物の自然の遊びが近い、道内でもなかなか貴重ですね。」

「飲食店も多くて、スナック文化も根付いています。20代の若い人でも2次会などでスナックに行くんですよ。都会から来た人にご紹介すると、凄く面白そう！と仰っていたいただけますね。」

「最後に、名寄には是非こういった方に来ていただきたい、という想いを教えてください。」

「名寄は、特に北海道に何回も来られているリピーターにとって面白い場所だと」

「最強スープカレーブッダ」



「飲食店が豊富な名寄市の中でも人気の高いお店。本場インドから仕入れた15種類のスパイスを使用し、道産豚肉や自家製野菜で作ったこだわりのスープカレーが自慢です。釣り好きの店主から、名寄付近の釣り情報も聞けるかもしれません。」



※お店の詳細は、「なよろ観光まちづくり協会」発行のパンフレットをご覧ください

「思います。来る時間がかかりますが植生も北欧に近いものがあるので、日本語が通じる海外という感じで来ていただければ、それくらいの異国体験はできると思います。」

「あとは企業ビジョンを形成したいとか、一年の計をチームで立てたい等、普段の会議室ではなかなか話せないことを考える時には、環境を変えるのが良いと思います。ご相談いただければ私もサポートしますので、是非名寄にお越し下さい！」

「ありがとうございます！次回の「つながる。ハーベスト」は、4月頃の公開を予定しています。」